

2016年3月26日

国内コンテスト主催者各位

JARL コンテスト委員会委員長
高橋 勝

電子ログの形式に関する JARL コンテスト委員会からのお知らせ

日ごろの JARL 主催コンテストへの参加、大変ありがとうございます。

このたび JARL コンテスト委員会では、委員会の推奨する電子ログの形式を新たに決めましたので、その内容をお知らせをしたいと思います。国内コンテストを主催される方々のご参考になれば良いかと思えます。

今回新たに形式を定めた目的は、現在実施しておりますコンピュータによる審査システムをこれまで以上に円滑に行うためです。

2016年4月からは、コンテストログソフトの CTESTWIN、ハムログからの変換ソフトの HLTST にもこの形式が適用されます。JARL コンテスト委員会が作っているログ入力支援システムである「JARL コンテスト 電子ログサマリー作成ページ」やログソフト「E-LOG MAKER」では、すでにこの形式になっています。なお、サマリー部（サマリーシートに相当する部分）は、従来通りです。

これから開催される貴団体の主催されるコンテストにも今回定めた電子ログ形式を適用される場合は、電子ログソフト作成者にその旨を依頼してください。

次に、この形式の内容をご紹介します。

(1) 交信「年」を記述

従来は交信月日が記述されてきましたが、今後は交信年月日を記述します。

(2) 各データの並び順を定めています

1 交信 1 行の原則は従来通りですが、各データは次の順で並べ、英数字半角を使います。

年月日・時分・バンド・モード・交信局・送信 RST・送信ナンバー・受信 RST・受信ナンバー・マルチ・得点

ここの送信ナンバーと受信ナンバーは、コンテストナンバーから RST を除いたものです。例えば受信したコンテストナンバーが 59920L であれば、受信ナンバーは 20L になります。

なお時分は、国内コンテストでは JST で、オールアジアコンテストでは UTC で記述します。

(3) 各データ間に半角スペースを入れています

各データ間に区切り文字（デリミタ）として1つ以上の半角スペースを入れています。

(1)から(3)を反映した具体的な例を次に示します。

例 1.

| DATA(JST) | TIME | BAND | MODE | CALLSIGN | SENTNo | RCVNo | Multi | PTS |
|------------|-------|------|------|----------|---------|---------|-------|-----|
| 2016-04-23 | 21:53 | 50 | SSB | JA2Y** | 59 20L | 59 20L | 20 | 1 |
| 2016-04-23 | 22:02 | 144 | SSB | JA2*** | 59 20L | 59 20L | - | 1 |
| 2016-04-23 | 22:15 | 7 | CW | JE3*** | 599 20M | 599 25M | 25 | 1 |

例 2.

| | | | | | | | | |
|------------|-------|-----|-----|--------|---------|---------|----|---|
| 2016-04-23 | 21:53 | 50 | SSB | JA2Y** | 59 20L | 59 20L | 20 | 1 |
| 2016-04-23 | 22:02 | 144 | SSB | JA2*** | 59 20L | 59 20L | - | 1 |
| 2016-04-23 | 22:15 | 7 | CW | JE3*** | 599 20M | 599 25M | 25 | 1 |

上記の(1)から(3)が守られていれば、例2のように各交信データの桁数(1行あたりの文字数)を揃える必要はありません。

なお電子ログの受付は、例えばZLOGのような従来からの形式でも受付を継続します。さらに上記(1)から(3)を守った自作のものも受付をします。

以上、今回新たに定めた電子ログ形式の内容についてのお知らせを行いました。よろしくお取り計らいのほど、お願い申し上げます。